科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 20 日現在

機関番号: 64401

研究種目: 研究活動スタート支援

研究期間: 2013~2014

課題番号: 25884095

研究課題名(和文)西アフリカにおける生権力の複数性:ガーナ南部における結核対策を事例に

研究課題名(英文)The Plurality of Biopower in West Africa: On the Tuberculosis Project in Southern

[°] Ghana

研究代表者

浜田 明範 (HAMADA, Akinori)

国立民族学博物館・先端人類科学研究部・機関研究員

研究者番号:30707253

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文):本研究では、ガーナ南部の農村地帯における結核対策について現地調査を実施した。その結果、(1)結核対策では実際に患者を発見・治療する看護師への働きかけが重視されていること、(2)しかし、看護師の結核対策への参与は限定的であること、(3)これは看護師の怠慢というよりは予算と人員の不足に由来すること、(4)看護師に頼れない患者は、逆説的に、ドキュメントを用いて自己管理をしていること、(5)患者の生活は結核対策というよりは家族の影響を強く受けていること、(6)結果的に、結核治療の成否は、看護師と家族がいかに結核対策に参与するかに依然として依存していること、の諸点が明らかになった。

研究成果の概要(英文): This research reveals the interferences of effects of biopower by illustrating several features of the tuberculosis project in Southern Ghana. First, the project focuses on the attitudes of the community health nurses who only partly engage in it, though their limited engagement is primarily due to resources deficiencies. Second, the patients' lives and health are just as influenced by the attitudes and life plans of their family members as by project policies regarding nurses and documents. Third, because tuberculosis patients cannot fully rely on the nurses, they are subjectified in their own recoveries through a document, the Treatment Support Card. Finally, treatments' successes as the effects of biopower depend on how the nurses and family members engage with them. Thus, there are interferences of effects of biopower; the inadequacy of nurses' efficacy is a precondition for the subjectification of patients and the importance of family aid.

研究分野: 医療人類学

キーワード: 結核 生権力 ドキュメント 薬剤 グローバルヘルス 医療人類学 ガーナ 西アフリカ

1.研究開始当初の背景

近年の人文・社会科学において、1970年代にフーコーが提起した生権力という概念をめぐる議論が活性化している。生権力が厳密に何を意味するのかについてはフーコー自身を含めて必ずしも一貫しているわけではないものの、多くの論者は、生権力が(a)殺す権力というよりは生かす権力であり、(b)個々人とともに集団としての人口を対象としており、(c)規律的な権力というよりは調整的な権力であることを強調している[e.g. Rabinow and Rose 2006; 檜垣(編) 2011]。

感染症への対策を主たる目標とするガー ナ南部における生物医療は、(a)人々を生か すことを目的としており、(b)個々人と同時 に人口集団への効果を重視しているという 2つの意味で、生権力が具体的な制度として 現われる典型的な場の1つとなっている。中 でも結核対策は、(1)人間の行為を長期間 にわたって統制し、(2)患者・家族・看護 師といった異なる立場の人々に異なる種類 の自己統治を同時に要求し、(3)患者の状 態に応じて「生かすべき者」と「死ぬに任せ る者」の選別が治療の過程で結果的に行われ ている、という生権力概念の骨子に関わる3 つの特徴を持っており、当該地域の生権力に ついて考える上での格好の事例となってい る。

(参照文献)

檜垣立哉(編), 2011, 『生権力論の現在: フーコーから現代を読む』勁草書房。

Paul Rabinou and Nikolas Rose, 2006, "Biopower Today" BioSocieties 1: 195-217.

2.研究の目的

人類学における生権力研究では、生権力の 複数性に対する関心が高まっている。箭内が 正当に指摘しているように、生権力について の研究はそれが人口をどのように〈単一の 方向〉に導いているのかを強調する傾向が あるが、そこには〈別の方向〉へ向かう回路 が必ず残されている[箭内 2013; Biehl 2005]。 生権力について分析する際には、人口がただ 一つの方向に導かれているという論点先取 り的な結論を早急に導くのではなく、具体的 なモノ・行為・制度の配置が人々を複数の方 向に同時に導きうる可能性に留意していく ことが肝要である。

研究代表者はこれまで、ガーナ南部における生物医療が同時に複数の方向に人口を導いていることを明らかにしてきた。本研究ではこれまでの研究を発展させ、結核対策における生権力の2つの意味での複数性を明らかにしていく。すなわち、これまで取り組んできた<同時に複数の方向に人々を導いている>という意味での複数性に加えて、<異なる立場の人々に異なる働きかけを同時に

行っている > という意味での複数性に着目する。このことにより、西アフリカにおける生権力の複雑な作動形態を具体的な事例に基づいて明らかにし、人類学における生権力論を深化させていくことが本研究の目的である。

(参照文献)

Joao Biehl, 2005, Vita: Life in a Zone of Social Abandonment. University of California Press

箭内匡, 2013, 「第三種の政治に向かって: 人類学的生権力論の一つの試み」、『思想』 1066: 244-263.

3. 研究の方法

上記の目的を達成するために、本研究では 主に以下の2つの方法を用いた。

第一に、ガーナ南部の農村地帯に位置するプランカシ町周辺において、人類学的な現地調査を実施した。その際、(1)結核対策の全体像の解明、(2)複数の統治実践の干渉と連環、(3)モノとしての薬剤とドキュメント、(4)結核対策による人間関係の再編成、(5)結核対策を特徴づける言説の具体的な現われ、の5点に特に注目した。

第二に、ガーナ政府やWHO、国際NGOの文字資料を対象に言説分析を行うとともに、ガーナ共和国の首都であるアクラにおいて各組織の結核担当者に聞き取りを行った。その際、結核対策と他の保健衛生プロジェクトの関係や、結核対策における問題意識、患者・看護師・家族に対する評価、「費用対効果」や人権・福祉といった発想に影響を受けた語り口に焦点を当てた。

4. 研究成果

本研究の成果として、以下の諸点が明らかになった。(1)結核対策では実際に患者を発見・治療する看護師への働きかけが重視されている。(2)しかし、看護師の結核対策への参与は限定的である。(3)これは看護師の怠慢というよりは予算と人員の不足に由来する。(4)看護師に頼れない患者というよりは家族の影響を強く受けている。(5)患者の生活は結核対策というよりは家族の影響を強く受けている。(6)結果的に、結核治療の成否は、看護師と家族がいかに結核対策に参与するかに依然として依存している。

これらの成果のうち、生権力の複数性を解明するという本研究の目的に照らして、特に重要なのは、看護師に配布されたドキュメントを用いて患者自身が投薬管理を行っている点である。

結核対策プロジェクトは、最終的には患者の体内にいる結核菌の振舞いを統治しようと試みるものであるが、そのためには患者に定期的な薬剤の服用させる必要がある。結核対策では、患者の行為を統制するために、直

接監視下短期治療療法(DOTS)という方法が 世界的に標準化されている。これは、患者が 服薬しているかどうかを看護師に確認させ る方法であり、患者ではなく看護師の行為を 統制しようと試みている。しかし、ガーナで はこの直接監視下短期治療療法が不徹底で あることによって、つまり、看護師への統治 がうまく機能していないことによって、患者 自身による自己統治が要請されている。その 結果、結核対策が配布している投薬チェック シートは、看護師の統治ではなく、患者の統 治のための装置となっている。このように、 ガーナ南部の結核体先においては、ある対象 (看護師)への生権力的な働きかけの失敗が、 別の対象(患者)への生権力的な働きかけの 前提となるという、複数の対象に対する生権 力的な働きかけの干渉のひとつの形態が見 られた。このような生権力の複数性とその複 雑な関係性を明らかにした本研究は、アフリ カにおけるグローバルヘルスについての医 療人類学研究だけでなく、生権力論にも大き な貢献となりうる。

これらの本研究で得られた成果は、『一橋社会学』第7巻(別冊)に掲載された論文「書き換えの干渉 : 文脈作成としての政策、適応、ミステリ」でまとまった形で発表した。また、以下に挙げるその他著述や学会発表においても、部分的に本研究の成果を発表している。

最後に今後の展望についてだが、本研究で得られた成果を世界的に発信するため、2015年9月に国立民族学博物館においてアフリカの生物医療と生命科学に関する国際シンポジウムを開催する予定である。また、本研究で得られた成果を発展させ、マラリアやオンコセルカといったその他の感染症を対象に、ガーナ南部における感染症対策と生権力の動態を明らかにしていく予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

<u>浜田明範</u>、「書き換えの干渉 : 文脈作成 としての政策、適応、ミステリ」、『一橋 社会科学』第7巻(別冊) 2015、pp. 125-150。

浜田明範、「薬剤から見る西アフリカの医療: 医療人類学の視点から」、*THE LUNG perspectives* vol.23 No.1、2015、pp.95-97。

浜田明範「アフリカにおける薬剤の流通と副作用:ガーナ南部のカカオ農村地帯を事例として」、落合雄彦(編)『アフリカ・ドラッグ考:交錯する生産・取引・乱用・文化・統制』、2014、pp. 169-190、晃洋書房。

Akinori Hamada, 'Payment and Milieu of Mutual-Aids: The National Health

Insurance Scheme and Multiple Cares in Southern Ghana 'In Mohasci Gergely (ed.), *Ecologies of Care: Innovations through Technologies, Collectives and the Senses.* Readings in Multicultural Innovation, Vol. 40, 2014, pp.161-177. Osaka: Doctoral Program for Multicultural Innovation.

Akinori Hamada, 'Medical Technology as Cultural Interface' In Heung Wah Wong and Keiji Maegawa (eds.) Revisiting Colonial & Post-Colonial: Anthropological Studies of Cultural Interface. 2014, pp283-305, Los Angeles: Bridge21.

[学会発表](計2件)

Akinori Hamada, 'Payment and Milieu of Mutual-Aids: The National Health Insurance Scheme and Multiple Cares in Southern Ghana', The International Union of Anthropological and Ethnological Sciences Inter-Congress May 8th, 2014, Makuhari-Messe, Japan. 浜田明範、「環境の書き換え:ガーナ南部における結核と複数の統治」、『京都人類学研究会』、2014年5月30日、京都大学。

[図書](計1件)

浜田明範、『薬剤と健康保険の人類学: ガーナ南部における生物医療をめぐっ て』、2015年、220頁、風響社。

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号に月日: 出内外の別:

取得状況(計0件)

名称: 発明者: 権利者: 種号: 番願年年月日日: 国内外の別:

〔その他〕 ホームページ等 なし

6.研究組織

(1)研究代表者

浜田 明範 (HAMADA Akinori)

国立民族学博物館・先端人類科学研究部・

機関研究員

研究者番号:30707253